

くすりのしおり

620008661

2008年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ドパストン散 98.5%

主成分：レボドパ（Levodopa）

剤形：ほとんど白色の散剤

シート記載：

**この薬の作用と効果について**

ドパミンに変わり、脳内に取り込まれて、不足しているドパミンを補い、パーキンソン病やパーキンソン症候群に伴う無動～寡動、筋硬直、振戦に奏効し、日常生活動作を改善します。

通常、パーキンソン病、パーキンソン症候群の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。緑内障
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** ：医療担当者記入
- ・ 通常、成人は主成分として1日250～750mgを1～3回に分けて食後すぐに服用します。その後、2～3日ごとに1日250mgずつ増量され、最適な維持量（1日標準1.5～3.5g）が定められます。治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。本剤は1g中に主成分985mgを含有します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 突発的な睡眠、意識がぼんやりする、注意力・集中力・反射機能などの低下が起こることがありますので、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作は避けてください。
- ・ 汗、尿、唾液が黒くなることがありますので、その場合は医師、薬剤師に相談してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、悪心・嘔吐、食欲不振、不随意運動（震え、舌やあごが絶え間なく勝手に動く）、不眠、頭痛、口渇、めまい、発疹、貧血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 高熱、筋硬直、手足の震え・けいれん [Syndrome malin]
- ・ 時間・場所などが判らない、ない物が見え・ない音が聞こえる、全身倦怠感 [錯乱、幻覚、抑うつ]
- ・ みぞおちの痛み、圧痛、嘔吐 [胃潰瘍、十二指腸潰瘍の悪化]
- ・ 全身倦怠感、動悸・息切れ、赤褐色尿 [溶血性貧血]
- ・ 前触れのない突然の眠気 [突発的睡眠]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。